

平成 29 年度事業報告書

平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日

一般財団法人機能水研究振興財団

理事長 堀田 国元



平成 30 年 6 月

平成 29 年度事業活動の概要

平成 29 年度は、堀田国元代表理事(理事長)、中山武久(常務理事:財務担当)、矢野一好(常務理事:事業担当)、7名の理事(芝燁彦、藤原功一、森澤紳勝、菊地憲次、岩澤篤郎、石井良和、丹波章彬)、2名の監事(八木澤守正、宮下奈穂)の役員体制、および事務局 3 名(都筑洋子、中藤誉子、福島宏和)体制で事業運営を行った。事業活動に関しては、公益目的支出計画の達成を念頭に、事業計画・予算に基づいて実施した。以下にその概要を示すが、中でも調査研究事業の成果として、「次亜塩素酸水生成装置」の JIS 制定に至ったことや、酸性電解水誕生 30 周年を記念して日本機能水学会学術大会にて記念セッションを実施したが特筆される。

1. 機能水及び機能水生成器に関する研究助成事業の推進

1) アルカリイオン水の作用機序に関する研究

① 内藤裕二(京都府立医科大学 准教授)

ミトコンドリアを標的にした飲用アルカリ性電解水の腸内環境改善作用

② 佐藤 勉(日本歯科大学東京短期大学 教授)

アルカリイオン水の口腔保健学的有用性に関する研究

2) アルカリイオン水の生理作用に関する研究

① 小山勝弘(山梨大学大学院総合研究部・教育学域・人間科学系 教授)

伸張性収縮運動後の酸化ストレス・炎症マーカーと運動パフォーマンスに及ぼす

アルカリイオン水摂取の影響

② 早川享志(岐阜大学応用生物科学部 教授)

アルカリイオン水と水素強化アルカリイオン水の生体内抗酸化効果の比較実験

③ 高橋 玲(同志社女子大学大学院薬学研究科医療薬学専攻 教授)

アルカリイオン水による骨組織リモデリング調節機構の解析

3) 酸性電解水に関する研究

① 渡辺剛志(青山学院理工学部電気電子工学科 助教)

グラフェン電解効果トランジスタの遊離塩素濃度測定への応用

2. 機能水及び機能水生成器に関する調査研究事業の推進

調査研究推進のために、以下の委員会において検討を行うとともに、各種の研究委託を実施した。

① 飲用アルカリ性電解水評価委員会: アルカリイオン水の作用機序その他の研究

② 次亜塩素酸水生成装置 JIS 化委員会: JIS B 8701 次亜塩素酸水生成装置 制定 10 月 20 日

③ 内視鏡洗浄消毒器委員会: 「消化器内視鏡の洗浄・消毒標準化にむけたガイドライン」パブコメ検討

④ 機能水技術認定委員会: 機能水技術認定制度の確立

<研究委託>

① 機能性ダイヤモンド電極を用いた機能水用センサーの研究

栄長泰明(慶應義塾大学理工学部化学科 教授)

② アルカリイオン水が肉の油脂の溶出に与える影響

数野千恵子(実践女子大学生生活科学部 教授)

- ③ アルカリイオン水の運動パフォーマンス、集中・判断力に及ぼす効果検証
小山勝弘(山梨大学大学院総合研究部・教育学域・人間科学系 教授)
- ④ 酸性電解水の切り花に対する延命効果等に関する研究
本多洋子(恵泉女学園大学 人間社会学部 教授)

<研究協力>

- ① リアルタイムバクテリアチェック JIS 原案作成 (日本規格協会)
- ② アルカリイオン水の齶蝕原性細菌に及ぼす影響についての予備的介入試験
(日本歯科大学東京短期大学 佐藤勉教授 研究班)

3. 機能水及び機能水生成器に関する成果の普及促進事業の推進

事務局が主体となって以下の活動の企画・実施、あるいは支援を行った。

1) 学会等活動支援:

- ① ウォーター研究会: ・セミナー(第70回、第72回)共催、2017年7月、2018年3月、東京
- ② 日本機能水学会: ・第16回学術大会共催; 2017年11月18~19日、鶴見大学
・「機能水研究」編集; 第13巻
- ③ 日本口腔機能水学会: ・第19回学術大会後援: 2018年3月、東京
- ④ 機能水研究振興財団: ・研修会3回(7月東京、11月鶴見、3月東京)、国際交流(CKJ:11月)

2) 展示会・講演会など

- ① 5月: ifia JAPAN 2017(東京ビッグサイト)、食の安全・科学ゾーン: 展示および講演
講演: 「次亜塩素酸水の標準化と新展望」: 堀田国元
- ② 1月: グローバル知的財産戦略フォーラム(特許庁主催); JIS 関連講演
パネルディスカッション「市場を創り、市場を育てる中小企業の標準化戦略」 堀田国元
- ③ 2月: 埼玉県食品安全課 埼玉県平成29年度食品衛生技術研修会
講演: 「酸性電解水(次亜塩素酸水)による衛生管理について」 堀田国元
- ④ 3月 IP ジャーナル Vol.4(知的財産研究教育財団); JIS 関連インタビュー記事
シリーズ「企業に聞く—知財と標準化」(第6回)
「市場の失敗を補正するための標準化—次亜塩素酸水生成装置に関する知財・標準化戦略」
堀田国元、アマノメンテナンスエンジニアリング、森永乳業、東芝
- ⑤ 各種雑誌: 月刊 HACCP、食品工場長、食と健康、日本食糧新聞、食品と開発

3) 「日本機能水学会第16回学術大会」紙上抄録: 朝日新聞(平成29年12月19日、20日夕刊)

4) 出版物

- ① ニュースレター発行: 6回(No.77~82)
- ② 各種既出版物の頒布

5) 広報およびコンサルティング

- ① 上記成果について随時ホームページにアップ
- ② 公共団体、一般等からの機能水に関する各種問合せへの対応

以上